



群馬県の外国人活躍推進施策 ～外国人との新たな共生に向けて～

群馬県企画部外国人活躍推進課

外国人材の円滑な受入れの促進

労働力不足が深刻化する中、新たな在留資格「特定技能」が創設されるなど、企業の外国人材に対するニーズが高まっており、群馬県においても、外国人材は県経済を支えるための欠かせない存在となっています。

このような状況を踏まえ、本県では、今年度、外国人材の受入れ促進と受入れ環境整備（多文化共生）を担う新たな組織として、企画部に「外国人活躍推進課」を設置し、庁内関係課と連携し、県全体で外国人の活躍を推進しています。

本県では、2015年度から、県内で修学している外国人留学生が卒業後に県内企業に就職・定着してもらうため、企業見学バスツアー（累計：15回、31社・152人）、留学生と企業との交流会（累計：3回、35社・68人）を実施してきました。また、2018年度からは、JETプ

ログラム参加者も対象とし、合同企業説明会（2018年度：1回、20社・113人）や企業インターンシップ（2019年度：6社・9人）を実施しており、今年度は、外国人材を対象とした合同企業説明会を都内で開催します。参加した留学生や企業からは好評をいただいています。

特定技能の創設により、今まで以上に、企業は外国人雇用についての悩みが多くなったと考えています。そこで、県では、外国人雇用に関する企業からの相談についての専門家（行政書士、社会保険労務士、中小企業診断士）による相談会や特定技能に関する説明会を開催しています。また、海外から外国人材の呼び込みを図るため、本県の魅力や仕事について、SNSによる多言語での情報発信も行っています。

外国人材の獲得が国内外で競争となっている中、外国人に日本・群馬県を選んでもらうことが必要です。その



企業見学バスツアー



合同企業説明会

ためには、外国人を単なる労働力としてではなく、共に暮らす生活者として捉え、新たな共生を進めていくことが必要であり、それを実現するため、群馬県独自の「群馬モデル」を構築したいと考えています。

ぐんま外国人総合相談 ワンストップセンターの新設

群馬県では2019年7月1日に「ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター」をオープンしました。以前から（公財）群馬県観光物産国際協会において、多言語相談を行っていましたが、このたび、県事業として再出発することとなりました。

県事業として開始するにあたり、3点ほど拡充した点をご紹介します。

まず1点目が相談員です。現在5か国語の相談員、相談員のとりまとめ役のリーダー、県職員を配置しています。拡充部分としては、ベトナム語相談員、リーダー、県職員の配置です。従前はポルトガル語、スペイン語、英語、中国語の相談員を配置しており、4言語で外国人住民の約75%に対応できていました（2013年）。しかし、近年のベトナム人の増加は目覚ましく、2018年末の統計では、県内で2番目に多い8,174人（2013年末は2,445人）となったため、相談員を加えました。困難ケース対応や関係機関との調整のため相談員のとりまとめ役のリーダーや、市



特定技能説明会

町村支援のための県職員も新たに配置して支援に臨んでいます。

続いて、2点目は相談業務ですが、拡充機能として、テレビ電話と三者間通話機能を導入しました。テレビ電話は、市町村窓口で外国人住民が来た際に、センター職員がテレビ電話を通じて通訳等の支援を行うものです。三者通話機能は、電話にて、センター相談員が外国人と関係機関のやり取りの通訳支援を行うものです。テレビ電話と三者間通話は多言語化していない関係機関と外国人の間を支援する仕組みとして今後の活用が期待されます。よくある相談は、入管手続きや雇用・労働等についてです。

最後に情報発信についてですが、センターでは、フェイスブックの活用に力を入れ始めたところです。生活情報や災害情報ははじめ外国人にとって重要な情報を積極的に発信していきます。



ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター